

(別記様式5)

群馬県教育委員会指定管理者評価委員会のR2年度評価結果概要

1 評価委員会の概要

(1) 評価対象施設

施設名	指定管理者名	指定期間
群馬県青少年会館	(公財)群馬県青少年育成事業団	5年間

(2) 評価委員の構成(五十音順)

委員名	役職等	備考
松村 純子	国立赤城青少年交流の家 所長	委員長
村上 祐介	公益財団法人ぐんまYMCA 理事長	
今井 美砂	吉井公民館、前・社会教育委員	
田子 宏美	税理士・中小企業診断士	
猿谷 直樹	弁護士	

(3) 評価委員会の開催状況

回数	日時	場所	内容
現地調査	令和3年8月3日	群馬県青少年会館	現地調査及びヒアリング
第1回	令和3年8月4日	群馬県青少年会館	現地調査及びヒアリング、委員会評価とりまとめ

2 評価結果

(1) 評価基準

A (優良) *4相当	・事業計画、仕様書等の内容を上回る成果、実績がある。 ・又はおおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績があり、かつ、施設の設置目的及び指定管理業務の目的達成に向けて非常に努力している。
B (良好) *3相当	・おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績がある。 ・又は成果、実績が事業計画、仕様書等の内容を一部下回っているが、サービス向上のための取組や課題等の改善を積極的に行っている。
C (要努力) *2相当	・おおむね事業計画、仕様書等どおりの成果、実績は出ているが、管理運営に一部適正を欠く事項がある、又は積極的な取組が不足している。 ・又は管理運営において工夫改善の必要な事項が散見される。
D (要改善) *1相当	・事業計画、仕様書等の内容の重大な不履行がある、又は非常に不適切な管理運営が見られる。

(2) 評価結果一覧

施設名	青少年会館	
総合評価	B	
評価項目	管理運営体制	A
	施設等維持管理	B
	サービス提供内容	B
	サービス向上の取り組み	B

※ 評価項目は施設及び利用の形態に応じて、評価委員会において定める。

(3) 施設ごとの結果概要

ア (群馬県青少年会館) 総合評価

総合評価の考え方	コロナ禍により休館や事業中止を余儀なくされたが、感染防止対策の徹底や動画配信等の新たな取組を実施する等、施設の設置目的及び指定管理業務の目的達成に向けて努力している。
評価できる点	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上のため、年21回の館内外の研修を行っている。 ・社会教育主事の任用資格を有する者2名を配置する等、青少年教育施設として適正である。 ・職員の対応が、利用者アンケートの中では86%と一番高い。 ・利用者からの要望への対応が年度内に実行されているものもあり、迅速に行われている。
改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS(Facebook)、ブログがあまり活用されていないので、誰に何を伝えるか検討が必要。 ・「withコロナ」時代の事業について、チャレンジしてほしい。 ・アンケート結果をさらに活用してほしい。フィードバックの観点を持ち、PDCAをしっかりと回し、具体的な改善・対応等に明確につなげることが必要。 ・コロナ禍により事業等が中止になった時間を活用し、事業の再計画・見直しや、コロナ禍で対応できる新たな企画・立案等を行うなど、さらなる業務改善等の取組があってもよかったのではないかと。

・管理運営体制に関する細目評価結果

項目	管理運営体制	細目	
		管理体制	法令遵守
評価	A	A	B

・施設等維持管理に関する細目評価結果

項目	施設等維持管理全般	細目					
		保守点検	植栽管理	備品管理	清掃	修繕	安全確保
評価	B	B	B	B	B	B	B

※ 細目は施設及び利用の形態に応じて、評価委員会において定める。
 (例)建物、施設別(〇〇棟、〇〇広場等)、業務の性質別(清掃、施設修繕、植栽管理等)

・サービスの提供内容に関する細目評価結果

項目	サービス提供内容全般	細目				
		案内表示	接遇	広報・利用促進	苦情・要望対応	青少年健全育成事業
評価	B	B	B	B	B	B

※ 細目は施設及び利用の形態に応じて、評価委員会において定める。
 (例)場所別(受付、案内表示、解説、展示内容等)、業務の性質別(〇〇事業、〇〇相談等)